



峰高だより



発行：京都府立峰山高等学校広報担当 所在地：京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地
Tel:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

第70回 卒業証書授与式

3月1日(木)に第70回卒業証書授与式を挙行し、本校、分校合わせて255名が学舎を後にしました。校長の式辞では、「高き理想を求め続けること、まことの道を求め続けること、人を憂うことのできる真のやさしい人になってくれることを願っています」という言葉が贈られました。答辞では、本校の角田美樹さんと弥栄分校の高岡祐以さんがそれぞれ高校生活の思い出をふり返り、卒業した後も「自分に限界を作らず、立ち止まらず、夢に向かって突き進みます。」と力強く誓いを述べました。また、在校生へ「人の心を思いやり、大切にし、楽しい学校生活を送ってください。」と言葉を贈りました。



2年生 Recitation Contest

2月13日(火)に2年生英語 Recitation Contest を行いました。各講座・クラスの予選で選ばれた9名の参加者が3つの課題から自分の気に入った内容のストーリーを暗唱しました。

課題文

- ◆「This Gift of Peace」
- ◆「I Have a Dream」
- ◆「Education First」



Recitation Contest 入賞者

- 1位 岸田 麻依さん(峰山中出身)
- 2位 香川 智紀さん(久美浜中出身)
- 3位 池田 晴さん(峰山中出身)



国際交流会

2月8日(木)に、コミュニケーションプロジェクトの取組の一つとして、1年生が国際交流会を行いました。日本に在住する外国人(インドネシア、韓国、ベトナム、ハンガリー、英国)との交流を通して、国際社会を生きていく生徒達が多様な文化や価値観に触れ人間性を広げるとともに、それらを受け入れる寛容さを身につけることを目的としています。また、自らが暮らす丹後や日本の社会

を理解するとともに自分達の文化や社会、自分の考えていることを発信するコミュニケーション能力を育成します。



前半の全体会ではゲストからそれぞれの出身国について紹介していただき、各国の地理や文化について触れました。後半はクラスごとに分かれ、自分たちで調べた丹後の紹介をしたり、産業工学科ではゲストと一緒に記念品(文鎮)の製作を行いました。

平成29年度 専門学科 課題研究合同発表会

2月9日(金)に峰山総合福祉センターで専門学科課題研究合同発表会を行いました。産業工学科を代表して「デザイン工芸(デザイン系統)」、「コンピューターによる自動化~Pepper君の可能性(機械系統)」、「UFOキャッチャーの製作(機械系統)」の3つの研究内容を発表しました。発表会には、京都府教育庁、京都府農林水産技術センター、京都府職業能力開発短期大学校、京都府織物・機械金属振興センター、京丹後市立の各中学校など多くの来賓の方々にもお越しいただきました。会場からは発表に関するたくさんの質問や、高校を卒業していく生徒たちへの励ましの言葉をいただくなど、活発な意見交換が行われました。



司会を務めた産業工学科デザイン系統の3年生

峰高展

2月24日（土）と25日（日）の二日間、20回目となる峰高展を開催しました。芸術科の授業と産業工学科デザイン系統3年生の実習作品、美術部、書道部、吹奏楽部の活動の発表の場として、毎年この時期に開催しています。生徒会は、昨年にひきつづき「夢プロジェクト」で陸前高田市の図書館の蔵書費にあてる古本の回収を呼びかけました。今年は、例年になく天候に恵まれ、保護者や近隣の多くの皆様に足を運んでいただきました。



吹奏楽部の発表



応援でお世話になった野球部も友情出演



音楽選択者の発表



書道作品



美術の授業では絵画・立体・デザインなど様々な素材を扱った制作をしています。作品と向き合うことで、ものを生み出す難しさや感性に磨きをかけ、完成したときの達成感など喜びを感じることを目標に取り組みました。



美術の授業では絵



産業工学科3年生が実習で作りました。

テーマ：「市街地再開発デザイン」・「高校生が企画した弁当」

グローバルネットワーク京都交流会（府立高校特色化事業）

平成30年2月3日（土）に京都工芸繊維大学で「グローバルネットワーク京都交流会」が開催され、本校からは23名の生徒が参加しました。この交流会は特色化事業の一つである「グローバルネットワーク京都」に指定されている9校が一堂に会し、1年間の取組の成果や研究の発表を行う行事です。今年度のテーマは「持続可能な国際社会への展望」でした。



論文コンテストでは2年生の藤井莉子さんが見事優秀賞を受賞しました。論文の題材は本校OBの谷垣雄三氏がニジェールで行った医療支援です。



2年生の英語の授業から「過疎化に対する対策とは？」



地学研究部「ショパークと地域のつながり」



丹後震災街歩きガイドチーム「歩いて迎える丹後震災の記憶」

アカデミックインターンシップ

3月14日（水）、15日（木）、16日（金）の3日間にわたり、アカデミックインターンシップを実施しました。この取組は、講義と企業実習から構成され、大学進学を目指す生徒に具体的な目標を持たせることと、学習への動機をより堅固なものとするを目的としています。初日は京都工芸繊維大学の菅原先生より「理系大学で学ぶ高校生が考えておくべきこと」というテーマで講義をしていただきました。大学での研究の様子や、高校での基礎知識が大切であることなど、自分が今何をすべきか、また、将来の生き方のヒントなど貴重な話しを聞くことができました。15日と16日は株式会社日進製作所・株式会社積進・株式会社タンゴ技研の3社の協力を得て、企業実習を行いました。本年度は文系生徒向けコースも加わり、1・2年生合わせて16名が企業実習に参加し、理系コース・文系コースに分かれて技術的な実習や企業における一般的な業務体験など、普段の授業では体験出来ない課題に取り組みました。



複合材料の研究に聴き入る



（株）積進にて



（株）タンゴ技研にて



（株）日進製作所（理系）



（株）日進製作所（文系）

【生徒の感想】

企業に勤めておられる方々のお話を聞いて、自分に足りていないものがあると感じました。仕事をする上で必要な心構えや、当然のマナーを早いうちに身につける事が大切であると思いました。また、大学へ進学することによって得られる力を最終的に企業・社会に使っていくのだという自覚を持つことが、社会で生きていくために必要だと感じました。

冬の陰の立て役者

この冬、たくさんの積雪に見舞われた丹後も、ようやく春を迎えようとしています。多くの部活の生徒達が校内の除雪に協力してくれたおかげで、無事冬を乗り切ることができました。協力してくれた生徒達に感謝。

